



「福沢小をよりよくしていくのは、何も委員会だけではありません。

児童全員で取り組んでいきましょう！」 ～運営委員会からの言葉より～

今年度のカウントダウンは既に始まっているようですが、2月28日(火)朝、今年度の“委員会ゴール集会”が開催されました。

児童の代表である各委員会の委員長が、一年間を振り返って成果や課題を紹介し、来年度へ引き継ぐとともに、活動内容のアピールや任務の魅力を紹介し、全員で取り組む児童会活動の活性化を図っています。

たいへんまじめに、訴える力の大きな発信・発言が行われ、委員会としての誇りや自覚の高さ、高学年としての責任感を強く感じました。

来年度、進級する新メンバーによる、新たな委員会活動が展開される期待に、確実につながっています。

委員の皆さんお疲れ様でした。今年度の経験を、今後の活動へ積極的に応用して活躍して下さい。



各委員会より、来年度へ向けて！

体育

- ・安全に楽しく、積極的に運動しよう！

音楽

- ・口を大きく開け、楽しく歌いましょう！

栽培

- ・花を一緒に育て、学校を明るくしよう！

図書

- ・書籍や冊子で充実した時間を過ごそう！

環境

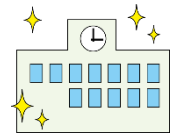
- ・美化に興味を持ち、住環境を考えよう！

保健

- ・健康でケガをしない意識を高めよう！

放送

- ・掃除や給食など、しっかりと
かつ 楽しい学校生活を！



給食

- ・給食の大切さや食への感謝を忘れずに！

ふれあい

- ・目を見てしっかりとあいさつ！
1～6年生までみんな
仲良くしよう！



運営

- ・学校をよりよくするための
プロジェクトに、児童全員
で取り組んでいこう！



福沢地区の学校にも卒業シーズンが到来しています 3月1日(水)より

3月に入り、卒業式、証書授与式のシーズンとなってきました。福沢地区でもその先陣を切って、神奈川県立足柄高等学校の卒業式が、3月1日(水)に挙行されました。福沢小学校と同じくインクルーシブ教育を推進しています。

学区内にある高校ですから、当然、通学する多くの足柄高校生の姿もよく見かけます。地区内で幼稚園児から高校生までが生活しているところは、それほど多くはないことでしょう。幼稚園、小・中学校、そして高等学校と、福沢地区で過ごした卒業生も多いと聞いています。福沢小の保護者にも足高OB・OGの方々は多いようです。

これを皮切りに、10日(金)は足柄台中学校卒業式、17日(金)は福沢幼稚園修了証書授与式、そして22日(水)は、いよいよ福沢小をはじめ市内小学校の卒業式となります。晴れの姿は、みんなで祝い合いたいものですね。





足柄上地区の他の小学校では、インフルエンザ蔓延予防等の理由により、この時期の授業参観・学級懇談が中止となった話題も聞かれましたが、去る2/14(火)、今年度4回目となる授業参観と学級懇談会が開催されました。



当日の授業参観には、300人を超える保護者や地域の方々に来校いただきました。寒い中、有難うございました。

授業では、普段の活動をとおした学習をはじめ、この時期ならではの学びなどから、4月当初よりも、落ち着いて学ぶ姿勢や成長した姿がうかがえたと思います。



懇談会では、次学年へ向けての話題や課題なども共有できたのではないのでしょうか。

家庭でも、次のステップへ向け、一年分の成長を認めながら、夢や希望を養う指導をお願いします。



福沢小児童のスマホの扱いが、懸念されています

「教育改善のためのアンケート」
「情報モラル実態調査学校診断レポート」より

「子どもが大量のメールをやりとりしている」「誹謗中傷の文言が送られてきて悲しかった」等の記述もありましたが、福沢小児童のスマホ所持率は、アンケートの結果によると高学年で25%を超え、市内や他地区と比較しても、かなり高い数値になっています。また、利用時間もかなり長く、「休日の利用時間は8時間以上」の割合が全学年で市内最高とかなり心配される状況です。使用(ゲーム、PCを含む)に当たって「特にルールを決めていない」という回答も同様に市内最高となっており、家庭での管理とルールづくりの必要性がうかがえます。



情報通信機器の活用や進歩は必要不可欠な時代です。進級・進学を控え、新たに買い与えたり、子どもの所持を検討されたりしている御家庭もあると思います。所持・所有の有無を問わず、適切な利用方法や機器の管理について、家庭での御指導をよろしくをお願いします。

季節のたより

「はるよこい」「春一番」「さくら」の楽曲等をはじめ、「春眠暁を覚えず」「冬来たりなば春遠からじ」等の故事ことわざでも、春は

“待ち遠しい”もの、“ウキウキワクワクする季節”としてなぞらえられるのが一般的のようです。実際、“あなたの好きな季節は?”とのアンケート調査を実施したところ、第1位が「春(36.2%)」以下「秋(33.1%)」、「夏(18.5%)」、「冬(12.2%)」という結果があったそうです。好きな理由として、「すごしやすい季節である」「命の始まりを感じる」「新しく良い何かが始まる予感がある」などが挙げられていたようです。

最近では歌われる機会も少なくなったようですが、卒業式向けの唱歌に「仰げば尊し」という歌があります。歌詞は三番まであるのを御存知でしょうか。馴染み易い6/8拍子のメロディーですが、文語調の歌詞のため、その意味まではあまり考えずに口ずさんでいた方も多いと思います。今までの生活をしみじみと振り返り、これからの未来を叱咤激励する、厚い慮りや強固な意思表示が読み取れます。因みに、昔習った「係り結び」の箇所もうかがえますね。

個人的には、春は出会いよりも別れの季節のイメージが強く、以前からあまり好きになれない季節です。涙が似合ってしまうのは、花粉のせいではないと思いますし、卒業や旅立ちの春は、やはりちょっと苦手です。(担当)

